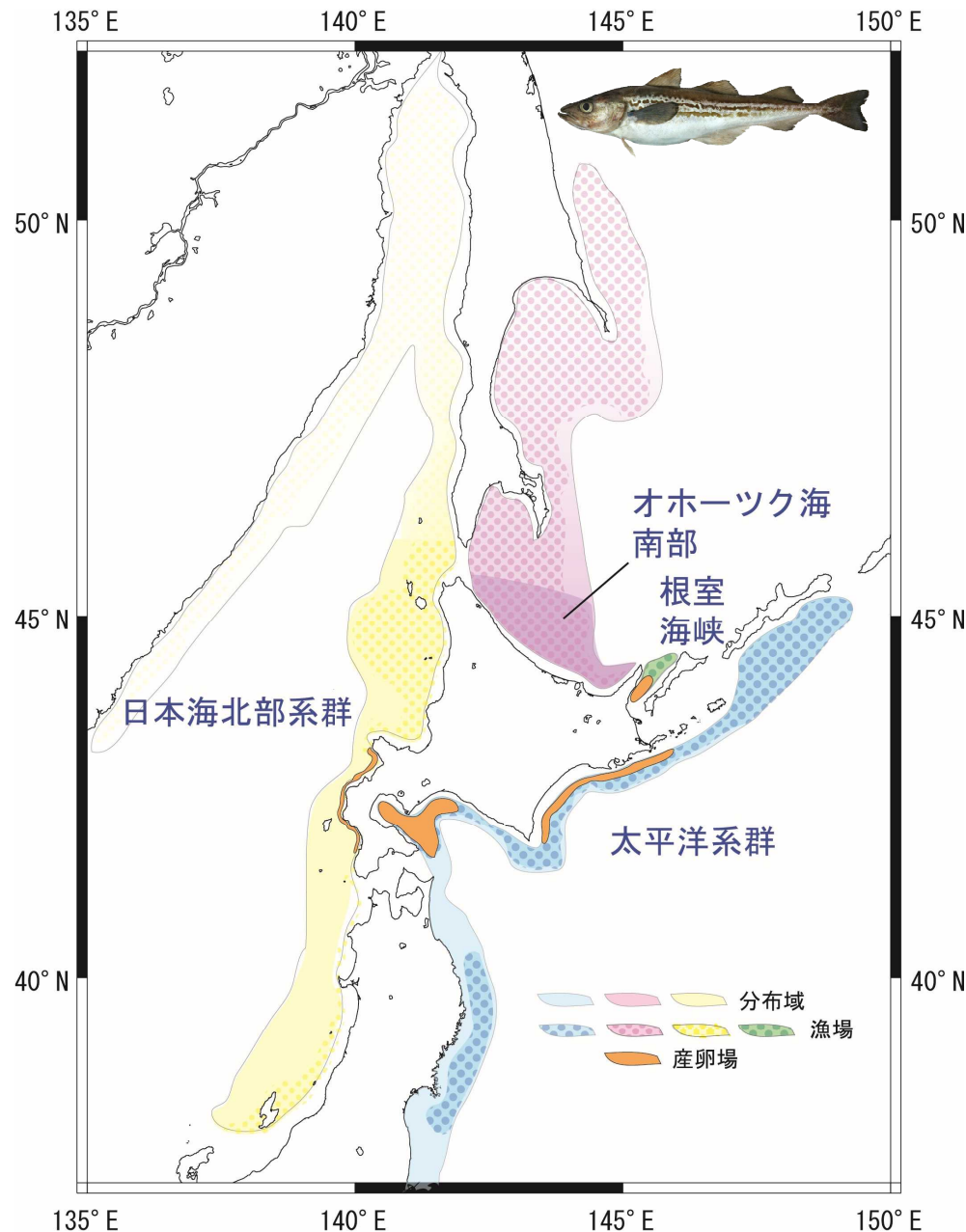




スケトウダラ
平成30年度資源評価結果

我が国周辺のスケトウダラ 生物学的特性



✓ 日本周辺では4つの集団に分けて資源評価

- 日本海北部系群
- 太平洋系群
- オホーツク海南部
- 根室海峡

■ 寿命：10歳以上

■ 成熟：概ね3歳から成熟開始
5歳で大部分が成熟

■ 産卵期：冬～春季

■ 食性：オキアミ類、カイアシ類など浮遊性小型甲殻類、魚類、いか類、ほか

■ 捕食者：海獣類、マダラなど魚類、共食い

資源評価の流れ①(ABC算定) 日本海北部系群・太平洋系群

【情報の収集】

- 漁業データ：漁獲物の年齢、獲れ具合（指標値）
- 調査船調査データ：親魚や新たに加わる子供（加入量）の現存量（指標値）

【資源量の推定】

2017年漁期までの、漁期別・年齢別の資源量

- 漁獲の主な対象は2歳以上
- 親魚量（成熟した魚（4歳以上）の資源量）

資源水準・動向の判断

2018年以降の将来の加入量を
過去の加入状況、親子関係から仮定

【資源量の予測】

- 2019年漁期の資源量

漁獲シナリオ（将来予測結果を基に選択）

【2019年漁期ABCの算定】

- 2019年漁期の予測資源量と漁獲シナリオから算定

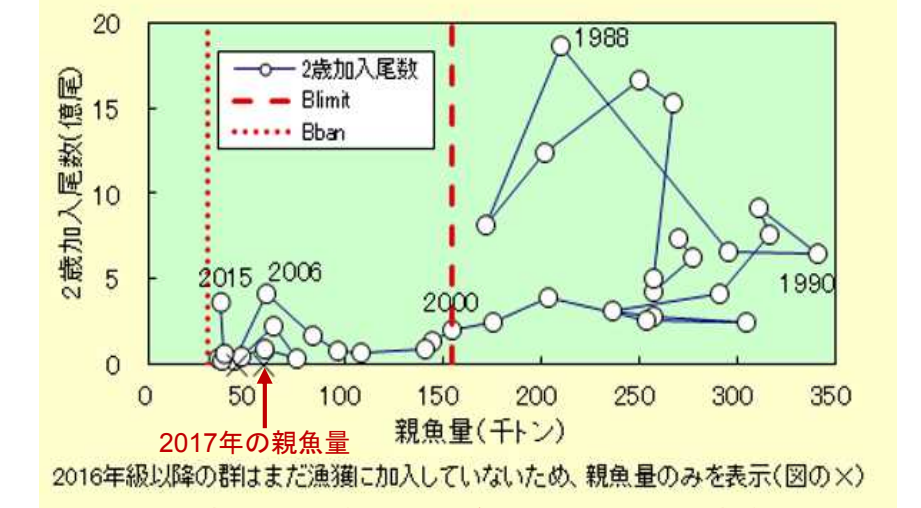
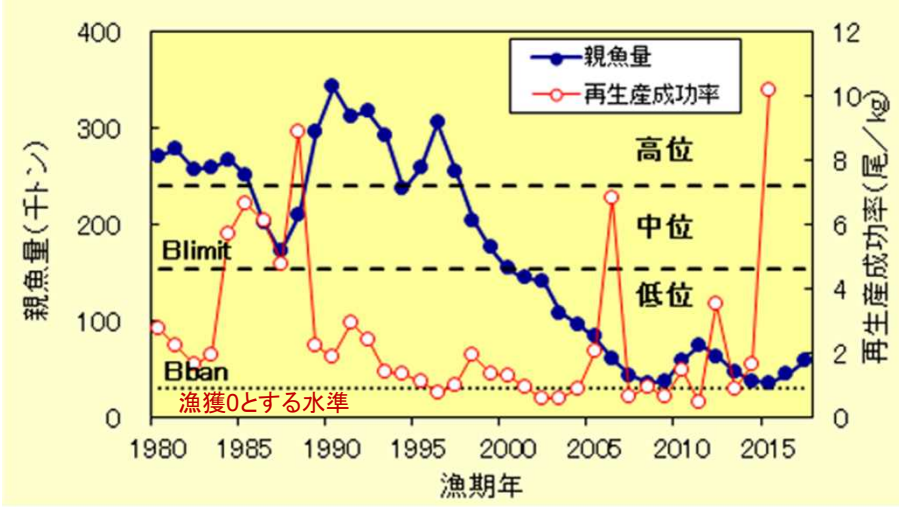
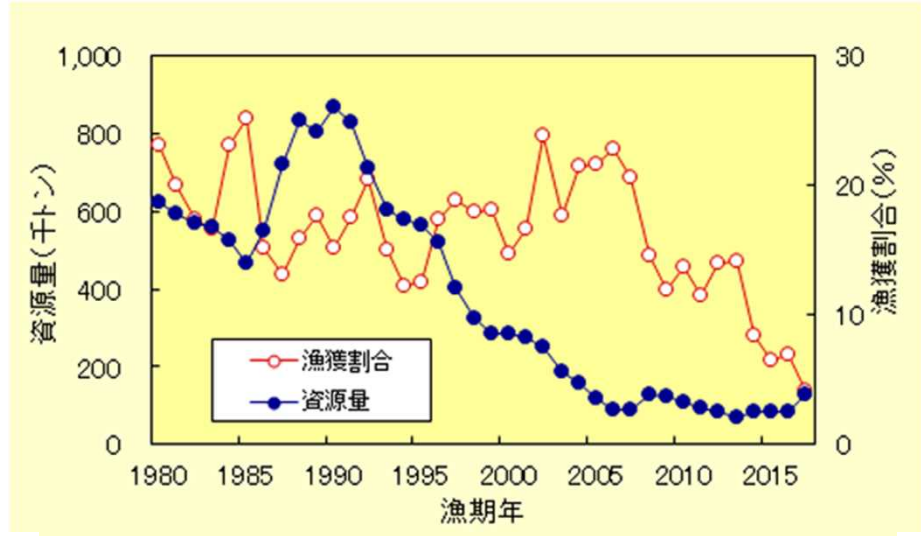
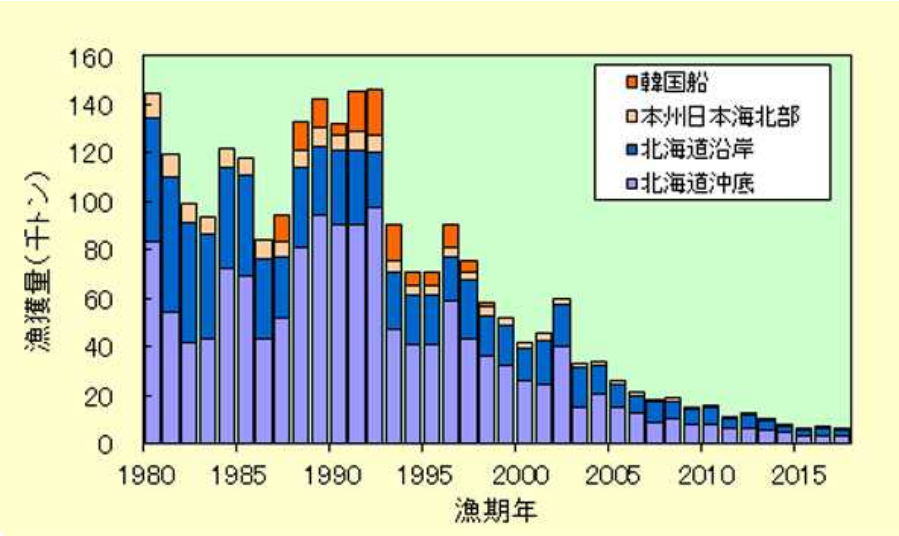
日本海北部系群

太平洋系群

10歳以上	8歳以上	親魚量
9歳魚	7歳魚	
8歳魚	6歳魚	
7歳魚	5歳魚	
6歳魚	4歳魚	
5歳魚	3歳魚	
4歳魚	2歳魚	
3歳魚	1歳魚	
2歳魚	0歳魚	加入量

資源量

スケトウダラ日本海北部系群



2017年 漁獲量: 5.3千トン
 資源量: 12.6万トン
 親魚量: 5.8万トン (Blimit=15.5万トンを大きく下回る)

資源評価のまとめ

スケトウダラ日本海北部系群

- 資源状況

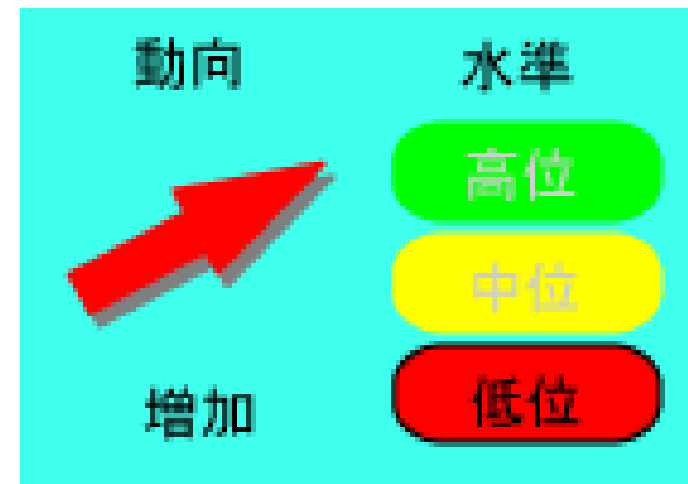
2017年：資源量12.6万トン

親魚量5.8万トン（Blimitを大きく下回る）

- 資源動向・資源水準

動向は増加、低位水準

- 近年では高豊度と推定・期待される2012、2015・2016年級群を親魚として残せれば資源を効率的に回復させることが可能



2019年漁期ABC

スケトウダラ日本海北部系群

- 2019年漁期の資源量と漁獲シナリオからABCを算出。（漁獲シナリオは毎年検討）
- 親魚量はBlimitを下回っているため、親魚量を回復させる漁獲シナリオを採用。
- 2018年漁期のABC算定に用いられた漁獲シナリオを継続した場合のABCを表示。

資源量（2019） = 183千トン を仮定。親魚量（2017） = 58千トン。Blimit = 155千トン

漁獲シナリオ (管理基準)	Target/ Limit	2019年漁期 ABC (千トン)	漁獲割合 (%)
親魚量の増大 (10年でBlimitへ回復) (Frec10yr)	Target	5.1	2.8
	Limit	6.3	3.4
親魚量の増大 (2017年漁期管理基準による漁獲割合) (F2017a)	Target	7.4	4.0
	Limit	9.1	5.0
親魚量の増大 (20年でBlimitへ回復) (Frec20yr)	Target	7.6	4.2
	Limit	9.5	5.2
親魚量の増大 (30年でBlimitへ回復) (Frec30yr)	Target	8.5	4.7
	Limit	10.6	5.8